

広島赤十字・原爆病院 がん地域連携パス指針【胃がんESD後 Stage I 地域連携パス】

当院では、がん地域連携パスを次のように運用させていただきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

1.対象患者

胃がん Stage I
上記疾患で、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)治療後

2.パス導入時の連絡

がん地域連携パスの適応があり、患者の同意が得られれば、主治医またはパス担当者より貴院へ電話にて連携の依頼をさせていただきます。

3.当院(がん診療連携拠点病院)での診察

- ①治療後、1～3ヵ月後に上部消化管内視鏡検査
- ②貴院に内視鏡設備がない場合は、1年毎、上部消化管内視鏡検査

4.かかりつけ医の先生にお願いする診療

- ①臨床症状(全身状態、腹痛の有無、消化器症状)の確認
- ②一般血液検査
- ③必要時、腫瘍マーカー(CEA、CA19-9)の施行
- ④治療後、6ヶ月、1年後、以後1年毎に上部消化管内視鏡検査
(内視鏡設備がない場合は、当院にて施行)
- ⑤病理組織所見により、必要に応じて、腹部エコー、腹部CT(造影)

※診療情報を当院に文書(診療情報提供書)で提供いただいた場合は、月1回を限度として『がん治療連携指導料300点』を算定することができます。

5.パスの期間

治療後10年間
※5年以降は、基本健診、職場健診や人間ドックを有効利用する

6.バリエーション

- ①内視鏡検査にて再発の疑いがある
- ②他疾患による病状悪化
- ③患者の事情による定期受診困難
- ④死亡

2021年4月作成

広島赤十字・原爆病院
がん相談支援センター
TEL 082-241-3111(内線 3214)